



ミジンコは水がなくても何日生きていられるの

乾わいたらすぐ死ぬ

ミジンコは、池や湖にすむプランクトンです。体長は1～2.5ミリメートルで、うすい卵形の二枚の殻でつつまれています。触角や足を動かして、少しおよくことができます。ミジンコは体をつつむ殻がうすく、水からあげると、すぐに体中の水分が抜け出てしまいます。乾いてしまえば死にます。元の水に戻しても、もう、生き返ることはありません。

卵は寒さや乾燥に強い

熱帯魚のえさとして、乾燥ミジンコや卵が売られています。乾燥ミジンコは、死がいです。しかし、卵はミジンコになります。

ミジンコの卵

夏はメスだけがいて、メスだけで卵を産み、この卵からはすべてメスが生まれます。この卵を夏卵といいます。

秋が近くなると、メスになる卵からオスが生まれ、オスとメスは交尾して冬卵を産みます。この卵は厚い皮でおおわれ、寒さや乾燥にとっても強くなります。冬はこの卵で過ごします。
(監修・中山 周平)

